



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社 paper boy & co. 上場取引所 JQ
 コード番号 3633 URL <http://www.paperboy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 久保田 文之 TEL (03) 5456-3021
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	1,507	12.0	266	△11.7	260	△14.1	152	△14.1
21年12月期第2四半期	1,346	—	302	—	303	—	177	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	114 81	114 35
21年12月期第2四半期	133 69	—

(注) 当社は、20年12月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、21年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	2,321	951	41.0	717 37
21年12月期	2,269	943	41.6	711 63

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 951百万円 21年12月期 943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	110 00	110 00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0 00	—	130 00	130 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,245	19.2	676	15.8	676	15.7	400	17.8	301 66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期2Q	1,326,700株	21年12月期	1,326,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

22年12月期2Q	一株	21年12月期	一株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期2Q	1,326,102株	21年12月期2Q	1,325,000株
-----------	------------	-----------	------------

(注意事項)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
・平成22年8月6日（金）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家向けの皆様向けに、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府の緊急経済対策の効果などを背景に、企業収益の改善が続き景気の自律的回復が期待される一方で、海外景気の下振れ懸念など景気を下押しするリスクが存在し、依然として厳しい状況が続いております。

インターネット関連業界におきましては、総務省の平成21年「通信利用動向調査」によりますと、インターネット利用者は9,408万人、人口普及率は78.0%に達しており、昨年に引き続き利用者は順調に増加しております。最近では、「スマートフォン」と呼ばれる本格的なネットワーク機能を内蔵した電子端末によるインターネット接続や、スマートフォン上で動作するアプリケーションの利用が進むなど、インターネット環境が多様化しております。また、電子書籍関連の話題も注目を集めており、電子書籍のビジネス展開もより一層進んでいくものと考えられ、従来のEコマースだけではなく、デジタルコンテンツ取引の活性化が期待されております。

このような事業環境のもと、当社では各サービスにおいて、サービススペックの向上や機能の強化に注力するなど顧客満足度向上のための活動を行い、また、割引キャンペーン等を積極的に実施し、会員数のさらなる獲得を図りました。

しかしながら、各サービスの契約件数の伸びは堅調であったものの、ホスティング事業において値下げキャンペーンを行った点、EC支援事業において検索エンジンへの最適化戦略の遅れ等により減少したページビューを回復できなかった点が影響し、また、期初より予定していたサーバーリプレースの実施や電子書籍出版サービス等の新規事業への積極的な先行投資の影響とも相まって、全体として売上高・利益は低調な推移となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高1,507,416千円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益266,803千円（前年同四半期比11.7%減）、経常利益260,324千円（前年同四半期比14.1%減）、四半期純利益152,249千円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

(事業部門別の状況)

(1) ホスティング事業

ホスティング事業におきましては、「ムームードメイン」で新たにドメインを取得する際に、同時に各レンタルサーバーサービスを簡単かつ割安で申し込めるようシステムを整備し複数サービスの利用を促進したほか、「ロリポップ!」「チカッパ!」「へテムル」においてそれぞれ標準ディスク容量を大幅に増量するなど、顧客の利便性と新規顧客獲得のための活動を継続的に行い、当第2四半期累計期間のレンタルサーバーサービス契約件数は約10,000件増加し約307,000件、ドメインサービスの登録ドメイン数は約89,000件増加し約635,000件となりました。

この結果、当第2四半期累計期間におけるホスティング事業の売上高は1,130,261千円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

(2) EC支援事業

EC支援事業におきましては、「Color Me Shop! pro」で大規模なショップ運営が可能となる3GBの大容量ディスクを標準装備したギガプランの提供を開始したほか、契約自動更新機能や商品の電子カタログ作成機能など、顧客からの要望が高かった機能拡充や決済手段の追加等を行い、顧客満足度向上のための活動を重点的に実施しました。「カラメル」においては、専属バイヤーが世界一周の旅で買い付けてきた雑貨を販売する「世界一周雑貨店」などのコンテンツ拡充に加え購入者専用ユーザーページをリニューアル

するなど、集客と利便性向上に一層注力し、当第2四半期累計期間では、「Color Me Shop! pro」の契約件数は、約2,000件増加し約28,000件、「カaramel」の店舗数は、約3,100件増加し約13,300件となりました。

この結果、当第2四半期累計期間におけるEC支援事業の売上高は258,716千円（前年同四半期比33.6%増）となりました。

(3) コミュニティ事業

コミュニティ事業におきましては、オンラインブックマークサービス「POOKMARK Airlines」をJUGEMブランドに統合し「JUGEMブックマーク」としました。それに伴い、コミュニティサービスの統合IDとして展開していました「JugemKey ID」の提供も「JUGEM ID」としてシステム統合しました。ブログサービス「JUGEM」においては画像のアップロード容量を増量しスペックアップを図ったほか、急速に普及しているスマートフォンへの対応としてPC・モバイル版同様にブログ記事の投稿や編集ができるiPhone専用アプリケーション「JUGEM for iPhone」の提供を行いました。有料版の「JUGEM PLUS」ではさまざまな決済やサービスの自動更新が可能となる「おさいぼ!」決済や携帯電話での決済に対応するなど利便性向上のための活動を積極的に行い、当第2四半期累計期間では「JUGEM」会員数は約124,000件増加し、約1,195,000件となりました。「Grouptube」においては、料金プランの一本化と値下げを行うとともに利便性向上のための機能追加を継続して行っております。

この結果、当第2四半期累計期間におけるコミュニティ事業の売上高は118,438千円（前年同四半期比51.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ51,084千円増加し、2,321,066千円となりました。主な要因は、売上及び利益の増加による「売掛金」の増加32,029千円、剰余金の配当及び前事業年度に係る法人税等の納税などによる「現金及び預金」の減少79,552千円、サービス用サーバー投資に伴う工具器具及び備品の増加などによる「有形固定資産」の増加104,898千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ42,967千円増加し、1,369,325千円となりました。主な要因は、会員数の増加等に伴う「前受金」の増加68,165千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ8,116千円増加し、951,740千円となりました。主な要因は、剰余金の配当による145,860千円の減少、当四半期純利益の計上による152,249千円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、1,619,690千円と前事業年度末と比べ79,552千円の減少となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた現金及び現金同等物は、176,927千円となりました。これは主に、有料会員数等の増加等に伴う売上債権の増加による32,029千円の減少、前事業年度に係る法人税等の支払による166,854千円の減少、有料会員数増加に伴う前受金の増加による68,165千円の増加や減価償却費40,262千円及び税引前四半期純利益260,086千円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した現金及び現金同等物は、112,761千円となりました。これは主に、サービス用サーバー投資など有形固定資産の取得に関する支出が91,061千円、自社利用サービスのソフトウェア開発投資など無形固定資産の取得に関する支出が13,356千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した現金及び現金同等物は、143,718千円となりました。これは、前事業年度に係る配当金の支払による支出が145,446千円、新株予約権の行使による株式発行収入が1,727千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移しておりますので、平成22年2月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,619,690	1,699,243
売掛金	356,309	324,280
前払費用	26,648	23,364
その他	20,363	31,283
流動資産合計	2,023,012	2,078,171
固定資産		
有形固定資産	174,775	69,876
無形固定資産	82,382	81,700
投資その他の資産	40,896	40,234
固定資産合計	298,053	191,810
資産合計	2,321,066	2,269,981
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	95,500	174,500
前受金	808,401	740,235
その他	465,423	411,622
流動負債合計	1,369,325	1,326,358
負債合計	1,369,325	1,326,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,250	119,387
資本剰余金	110,250	109,387
利益剰余金	721,238	714,849
株主資本合計	951,740	943,623
純資産合計	951,740	943,623
負債純資産合計	2,321,066	2,269,981

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,346,280	1,507,416
売上原価	572,691	755,789
売上総利益	773,589	751,627
販売費及び一般管理費	471,294	484,824
営業利益	302,294	266,803
営業外収益		
受取利息	0	2
受取手数料	288	—
雑収入	529	—
その他	15	115
営業外収益合計	833	118
営業外費用		
匿名組合投資損失	—	6,247
消費税等調整額	82	349
営業外費用合計	82	6,596
経常利益	303,045	260,324
特別損失		
固定資産除却損	—	238
特別損失合計	—	238
税引前四半期純利益	303,045	260,086
法人税、住民税及び事業税	135,327	91,094
法人税等調整額	△9,425	16,742
法人税等合計	125,902	107,837
四半期純利益	177,142	152,249

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	303,045	260,086
減価償却費	22,089	40,262
固定資産除却損	—	238
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,300	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	8,300	—
匿名組合投資損益(△は益)	—	6,247
受取利息	△0	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△79,022	△32,029
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,494	△1,899
前受金の増減額(△は減少)	78,432	68,165
その他の流動負債の増減額(△は減少)	43,970	2,235
その他	153	474
小計	392,773	343,778
利息の受取額	0	2
法人税等の支払額	△92,927	△166,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,846	176,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,625	△91,061
無形固定資産の取得による支出	△20,740	△13,356
敷金及び保証金の回収による収入	△98	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△8,245
その他	—	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,464	△112,761
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,727
配当金の支払額	△105,438	△145,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,438	△143,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	151,942	△79,552
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,715	1,699,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,435,658	1,619,690

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

当第2四半期累計期間における事業部門別の販売高は以下のとおりです。

事業部門	前第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)		前年同四半期 比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
ホスティング事業	1,074,574	79.8	1,130,261	75.0	105.2
EC支援事業	193,672	14.4	258,716	17.2	133.6
コミュニティ事業	78,033	5.8	118,438	7.8	151.8
合計	1,346,280	100.0	1,507,416	100.0	112.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。